

挿 話

『初日犠牲者』

日誌を記入しながら、あなたは昼間のやり取りを思い返します。

自分の発言のせいで、あのような疑いあいの席が設けられてしまったと思うと、気持ちが重くなります。

明日も続くようなら、自分が店主／アルヴァンを諫めて終わりにしてもらおう。そう決意して、あなたは一つ深呼吸して気持ちを整えました。

あなたが就寝の準備をしようとしているとき、村人が息せき切って教会の扉を開きます。もう日付も変わるころ。どうしたのか問うと、村人は取り乱した様子で言いました。
——店主／アルヴァンが、変わり果てた姿で見つかった、と。



『初日犠牲者』

店主／アルヴァンが死体となって発見されました。

2日目・朝



マキシア Maxiah

- 20:00 教会： 一人で夕食。メニューは野菜スープとパン。
- 20:30 教会： 村人から行商／シュクルが禁制品を仕入れたらしいという噂を聞く。
- 21:00 教会： 通りかかった行商／シュクルに真偽を確認。そのまま説教に移行。
- 21:30 教会： シュクルが森向こうに帰っていくのを見送って、教会の敷地を清掃。
- 22:00 教会： 教会の建物内を清掃。いつも通りの作業だが、心をこめるのは忘れない。
- 22:30 教会： 掃除用具を片付け、日誌を記入。預かった禁制品は鍵付きの戸棚にしまう。
- 23:00 教会： 夜の礼拝。

タイムライン

物

酒の材料になるもの。
酒造許可のないこの村では禁制品。

あなたはこれを行商／シュクルから
没収した。
当人は「村人に頼まれて仕入れた」と
言っていた。

禁制品の所持について、
行商／シュクルは危険性をいまいち
理解していないようだ。

蜂蜜と酒のタネ